

2016年12月期 第2四半期累計 決算説明資料

2016年8月5日
ユニ・チャーム株式会社
代表取締役 社長執行役員
高原 豪久

この資料には、2016年8月5日現在の将来に関する、前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

2016年12月期 第2四半期累計 決算概要

9期連続 営業利益過去最高を更新中

- 売上高 **▲83.3億円(▲2.3%)** … 為替影響を除くと約5%増収
- 営業利益 **+10.7億円(+3.1%)** … “ “ 約7%増益
 - ✓ 日本: パーソナルケア事業、ペットケア事業共に好調につき、増収増益
 - ✓ 中国: 日本からの輸入品は約30%成長(主に越境EC、正規輸入)
ベビーケア市場はインバウンドが減少し、日本製プレミアム品への
中国の消費者需要は拡大、過剰であった流通在庫が減少中
- 経常利益 **▲69.2億円(▲21.0%)** … “ “ 約10%増益
 - ✓ 主に親子ローンの評価換えによる為替差損増 **▲62.5億円**
- 四半期純利益 **+16.7億円(+10.5%)**
 - ✓ 企業価値向上に寄与しない政策保有株式の売却益 **+36.6億円**
 - ✓ 実効税率低下(36.2%→32.3%)による税コスト減 **+11.6億円**
 - ✓ 中東子会社の持分買取による親会社帰属の利益増 **+19.1億円**
- 営業活動によるCF **+100億円(410億円→510億円、+25%)**

前年同期比:売上高 2.3%減収、営業利益 3.1%増益
公表値達成率:売上高 96.0%、営業利益 96.7%



■ 連結決算ハイライト

(百万円)

	'16/12月期 2Q	'15/12月期 2Q	増減額	増減率	(参考) '16/12月期2Q 公表値	達成率
売上高 ※1	350,479	358,809	▲8,330	▲2.3%	365,000	96.0%
営業利益 利益率 ※1	35,773 10.2%	34,700 9.7%	1,073	3.1% (+0.5%P)	37,000 10.1%	96.7%
経常利益 利益率	26,032 7.4%	32,952 9.0%	▲6,919	▲21.0% (▲1.6%P)	33,000 9.0%	78.9%
四半期純利益 利益率 ※2	17,555 5.0%	15,891 4.4%	1,665	10.5% (+0.6%P)	17,500 4.8%	100.3%
EPS(円)	29.47	26.44	3.03	11.5%	—	—

※1: 為替変動の影響を除いた場合('15/12期レートに置き換え)

売上高 約5%成長、営業利益 約7%成長

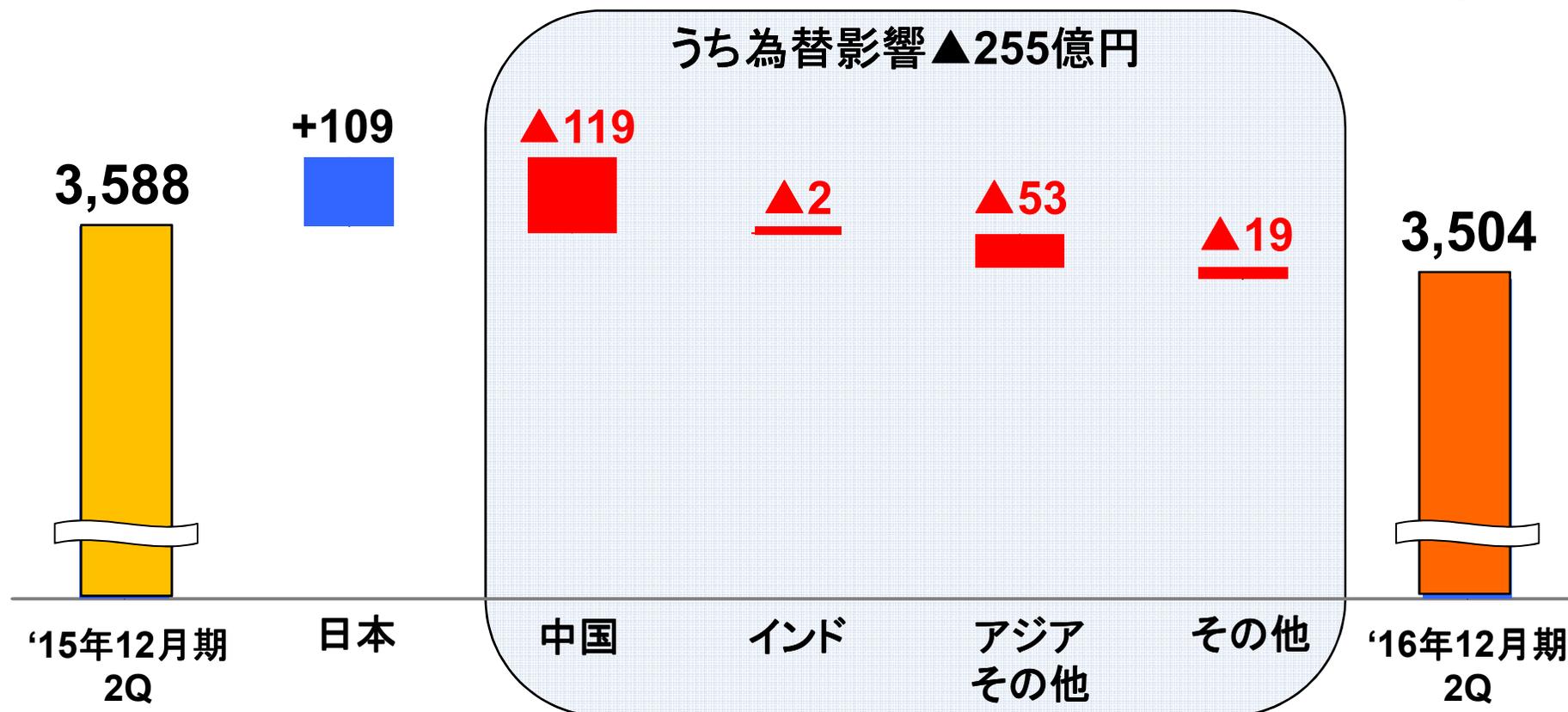
※2: 親会社株主に帰属する四半期純利益

円高によりネガティブに働くが、海外は現地通貨ベース約3%成長
日本はヘルスケア事業、フェミニンケア事業が牽引



■ 連結売上高増減

(億円)



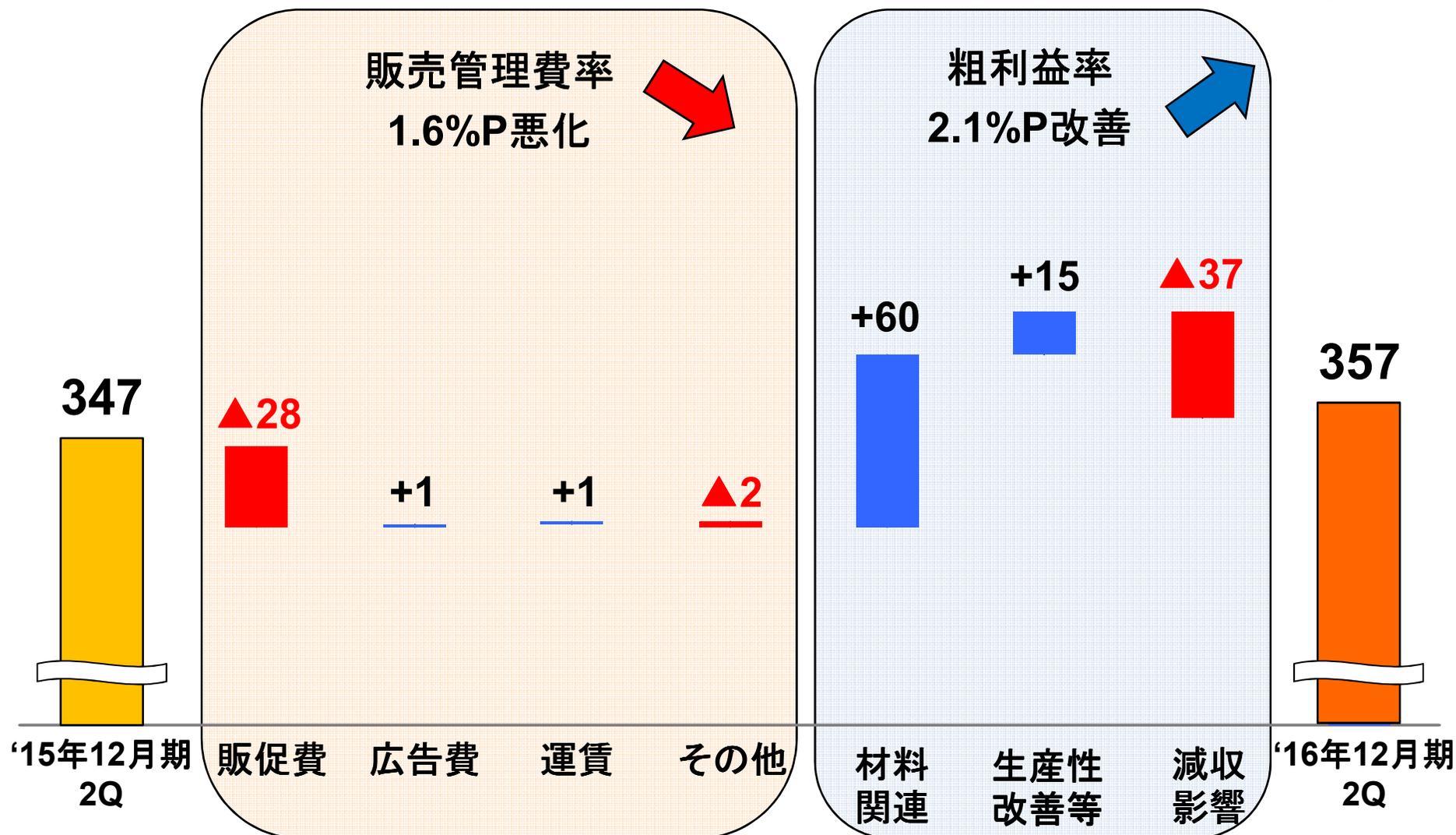
- ◆日本・・・パーソナルケア、ペットケアでは安定的な成長を継続。海外での日本製需要もプラス。
- ◆中国・・・ベビーケア回復傾向、フェミニンケアはセルアウト好調持続(現地通貨ベース)。
- ◆インド・・・猛暑により市場成長が鈍化するなか、エリア拡大を推進し成長を継続(現地通貨ベース)。
- ◆アジアその他・・・ベトナム、タイは順調推移、インドネシアでは消費マインド改善により回復傾向。

原材料価格変動の影響と商品ミックスの改善により増益



■ 連結営業利益増減

(億円)



日本は高付加価値商品の拡売により順調に成長 アジアは市場を拡大させるための投資を積極的に実施



■ 所在地別セグメント情報

(百万円)

	'16/12月期 2Q		'15/12月期 2Q		売上高		営業利益	
	売上高	営業利益 利益率	売上高	営業利益 利益率	増減額	増減率	増減額	増減率
日本	143,696	22,435 15.6%	132,764	18,304 13.8%	10,932	8.2%	4,131	22.6% (+1.8%P)
アジア	154,813	10,724 6.9%	172,216	15,447 9.0%	▲17,403	▲10.1%	▲4,723	▲30.6% (▲2.1%P)
その他※	51,969	2,416 4.6%	53,828	1,141 2.1%	▲1,859	▲3.5%	1,275	111.7% (+2.5%P)
消去 又は全社	-	197	-	▲192	-	-	390	-
連結	350,479	35,773 10.2%	358,809	34,700 9.7%	▲8,330	▲2.3%	1,073	3.1% (+0.5%P)

※その他・・・主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ

為替変動の影響は、売上高▲255億円、営業利益▲25億円
 (営業利益の内訳は換算▲15億円、仕入価格上昇▲10億円)



■ 通貨別変動推移

通貨	'16/12期2Qレート	'15/12期2Qレート	レート増減率
台湾(TWD)	3.41	3.86	▲11.7%
タイ(THB)	3.15	3.65	▲13.7%
韓国(KRW)	0.0946	0.1096	▲13.7%
インドネシア(IDR)	0.0084	0.0093	▲9.7%
マレーシア(MYR)	27.25	33.07	▲17.6%
オランダ(EUR)	124.62	134.17	▲7.1%
中国(RMB)	17.07	19.32	▲11.6%
フィリピン(PHP)	2.40	2.72	▲11.8%
サウジアラビア(SAR)	29.86	32.10	▲7.0%
インド(INR)	1.68	1.93	▲13.0%
米国(USD)	111.81	120.23	▲7.0%
ロシア(RUB)	1.60	2.10	▲23.8%
オーストラリア(AUD)	81.90	94.03	▲12.9%
ベトナム(VND)	0.0050	0.0056	▲10.7%

2016年12月期 業績予想

2016年12月期は、円高の影響を鑑み、換算レートを見直し
 売上高 7,200億円(2.5%減収)、営業利益830億円(3.8%増益)



■ 連結業績予想

(百万円)

	'16/12月期	'15/12月期	増減額	増減率	(参考) 前回 業績予想	(参考) 増減率
売上高 ※1	720,000	738,707	▲18,707	▲2.5%	777,000	▲7.3%
営業利益 利益率※1	83,000 11.5%	79,934 10.8%	3,066	3.8% (+0.7%P)	87,000 11.2%	▲4.6%
経常利益 利益率	70,000 9.7%	71,380 9.7%	▲1,380	▲1.9% (+0.0%P)	80,000 10.3%	▲12.5%
四半期純利益 利益率※2	42,000 5.8%	40,511 5.5%	1,489	3.7% (+0.3%P)	47,000 6.0%	▲10.6%
EPS(円)	70.48	67.55	2.93	4.3%	78.90	▲10.7%

※1: 為替変動の影響を除いた場合('15/12期の換算レートに置き換え)

売上高 約8,000億円(約8%増収) 営業利益 約900億円(約13%増益)

※2: 親会社に帰属する四半期純利益

2016年12月期 業績予想修正のポイント



● 全通貨の換算レートを見直し

主要通貨	'16/12月期 修正レート(円)	'16/12月期 前回レート(円)	増減率	(参考) '15/12月期(円)	(参考) 増減率
米国(USD)	105.90	118.50	▲10.6%	121.05	▲12.5%
中国(RMB)	16.19	17.90	▲9.6%	19.22	▲15.8%
インドネシア(IDR)	0.0077	0.0085	▲9.4%	0.0091	▲15.4%
タイ(THB)	3.01	3.26	▲7.7%	3.54	▲15.0%
ベトナム(VND)	0.0047	0.0053	▲11.3%	0.0055	▲14.5%

<その他の当初予想からの変更点>

● 中国子会社の勘定科目区分変更

✓ 当初の売上割引(営業外費用)から一般管理販売費へ

● 原油市況変動による原材料コスト(為替込み)の影響

● 為替変動による外貨資産・負債の評価替えの影響

✓ 親子ローンの評価替えによる為替差損の増加

(営業利益への影響)

約▲20～▲30億円

約+20～+30億円

(経常利益への影響)

約▲60億円

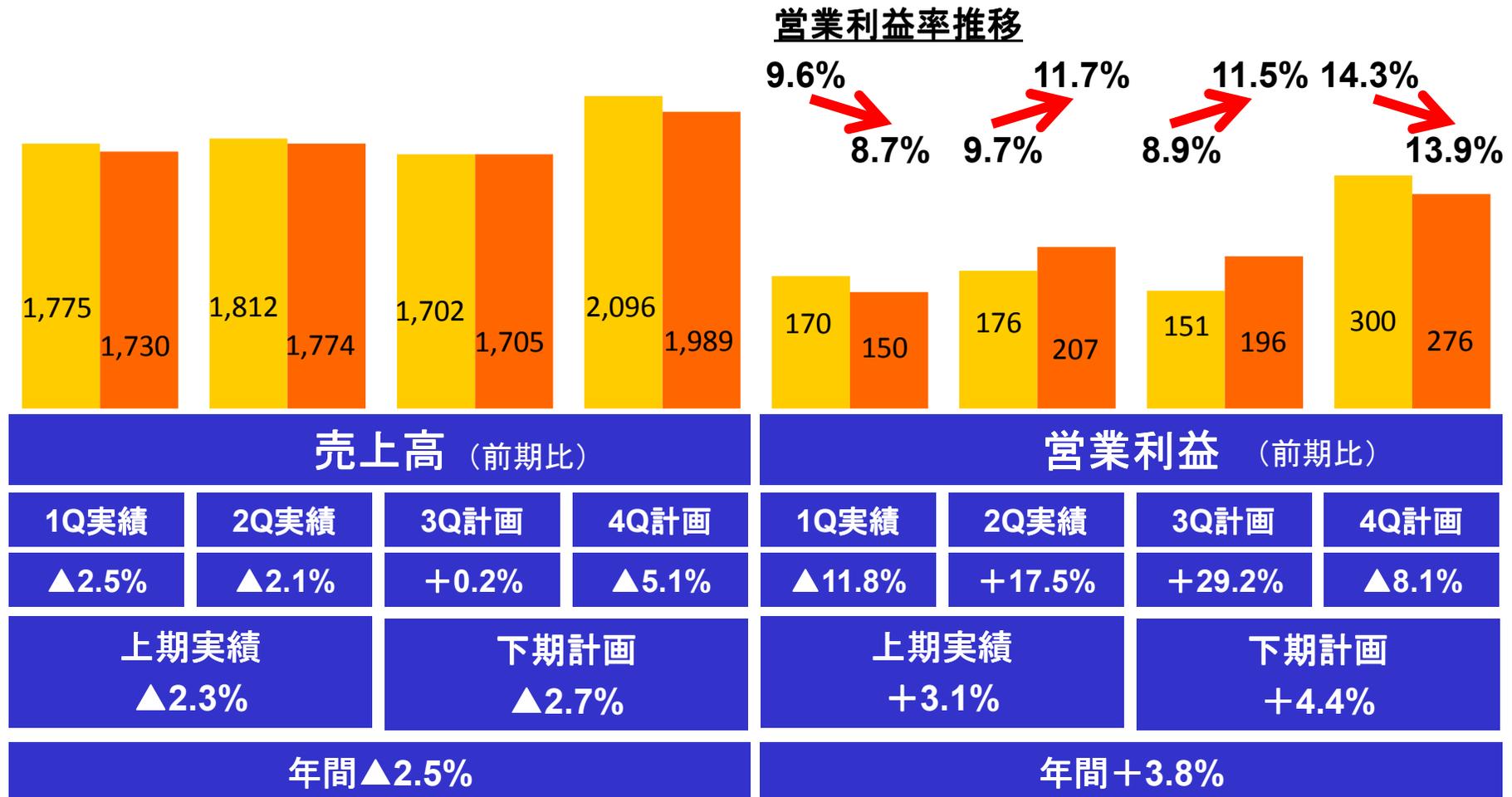
3Qはアジアを中心に収益性の改善が進み 4Qでも高い収益性をキープ



■ 連結業績予想推移(四半期ベース)

(億円)

■ 前期 ■ 今期



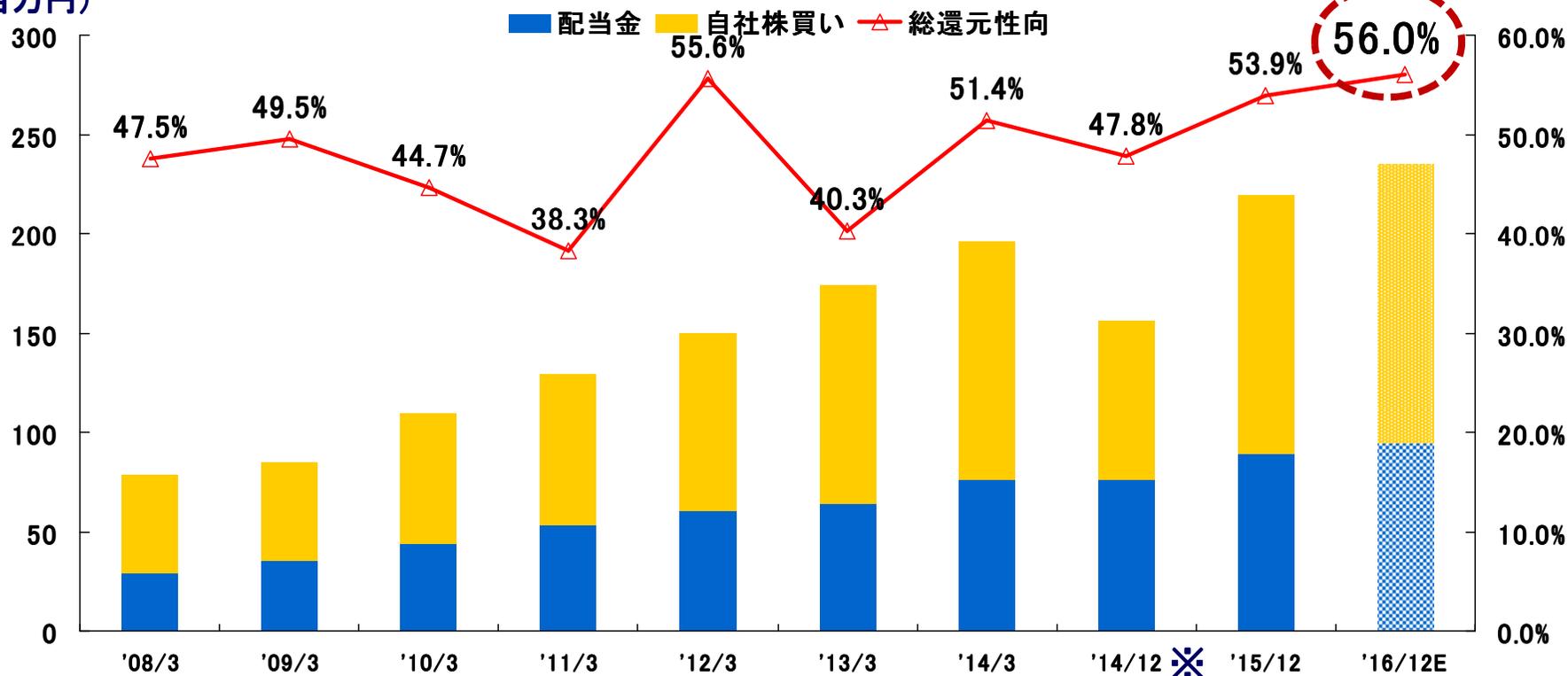
2016年12月期 株主還元政策

総還元性向50%方針の下 21期連続増配、総還元性向56%を予定



株主還元政策

(百万円)



※決算期変更により変則的な決算となっております。

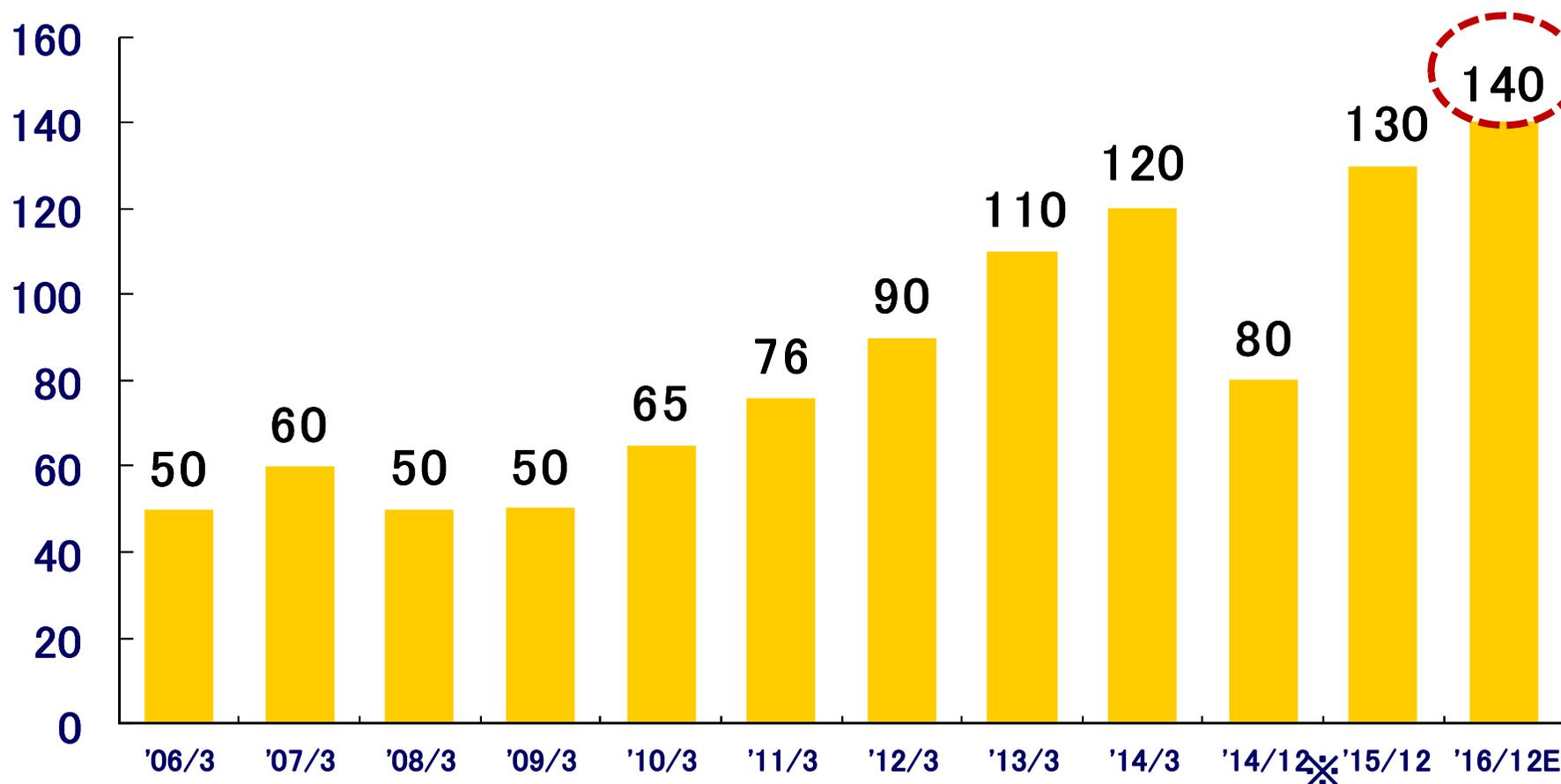
継続的な成長を実現するための事業投資を優先しつつ、中長期的な連結業績の成長に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施し、自己株式の取得に関しても必要に応じて機動的に行うことで、株主配当と自己株式取得と合わせて**総還元性向50%を目標**(配当性向20%目処)に利益還元を図っております。

キャッシュの状況に応じて機動的に自己株式を取得 2016年度は140億円(上限) 800万株(上限)を取得予定



■ 自己株式取得の推移

(億円)



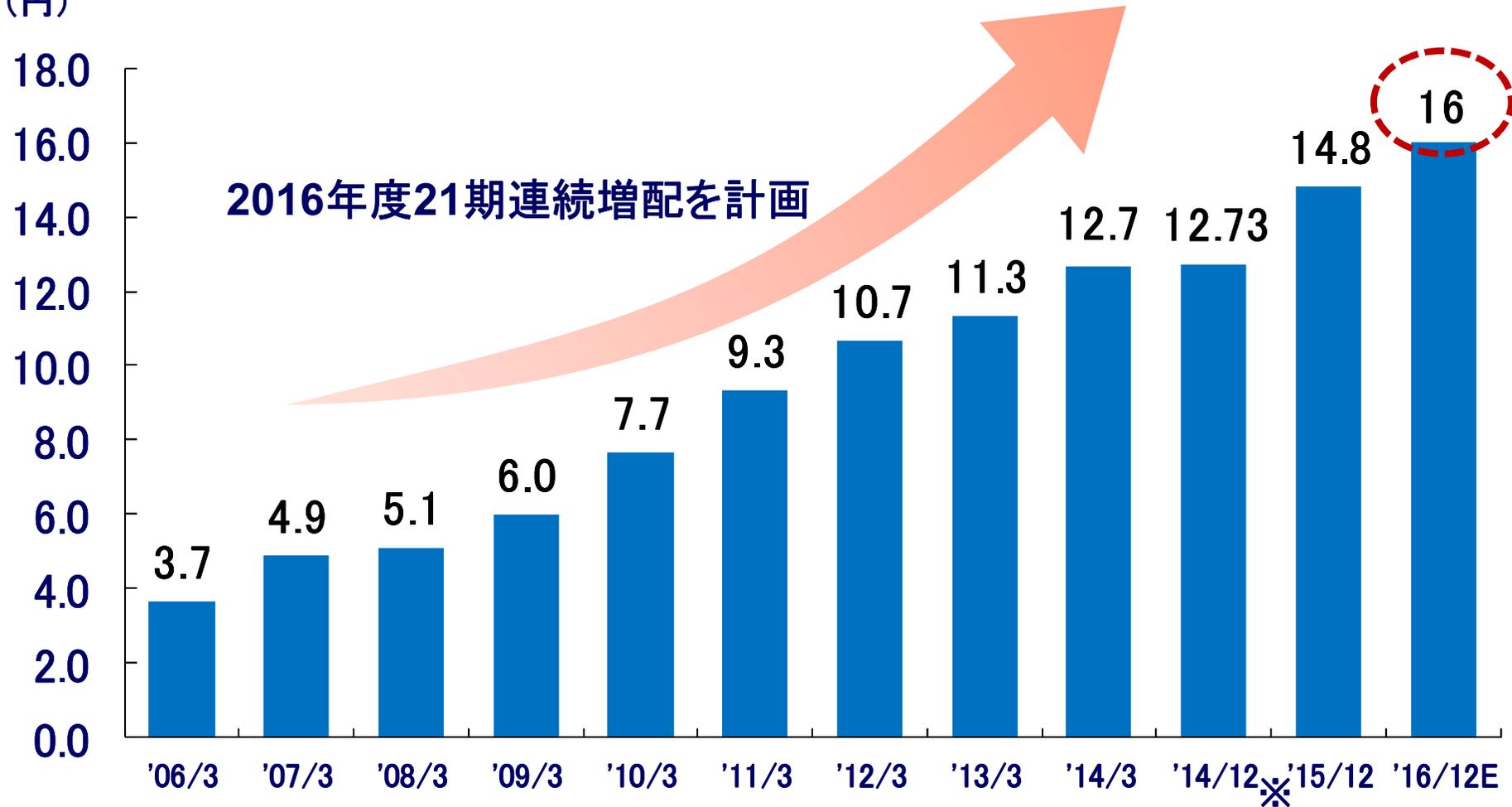
※決算期変更により変則的な決算となっております。

安定的かつ継続的な配当を実施



■ 1株当たり配当金の推移

(円)



※決算期変更により変則的な決算となっております。

參考資料

【参考】ペットケア事業は、日本でのブランド強化等により増収増益、海外は高付加価値商品へのシフトにより収益改善



■ 事業別セグメント情報

(百万円)

	‘16/12月期 2Q		‘15/12月期 2Q		売上高		営業利益	
	売上高	営業利益 利益率	売上高	営業利益 利益率	増減額	増減率	増減額	増減率
パーソナル ケア	306,851	34,076 11.1%	315,956	34,129 10.8%	▲9,105	▲2.9%	▲52	▲0.2% (+0.3%P)
ペットケア	40,644	1,497 3.7%	40,277	440 1.1%	367	0.9%	1,057	239.8% (+2.6%P)
その他※	2,983	199 6.7%	2,576	130 5.1%	408	15.8%	69	52.8% (+1.6%P)
消去 又は全社	-	-	-	-	-	-	-	-
連結	350,479	35,773 10.2%	358,809	34,700 9.7%	▲8,330	▲2.3%	1,073	3.1% (+0.5%P)

※その他・・・産業用資材関連商品等

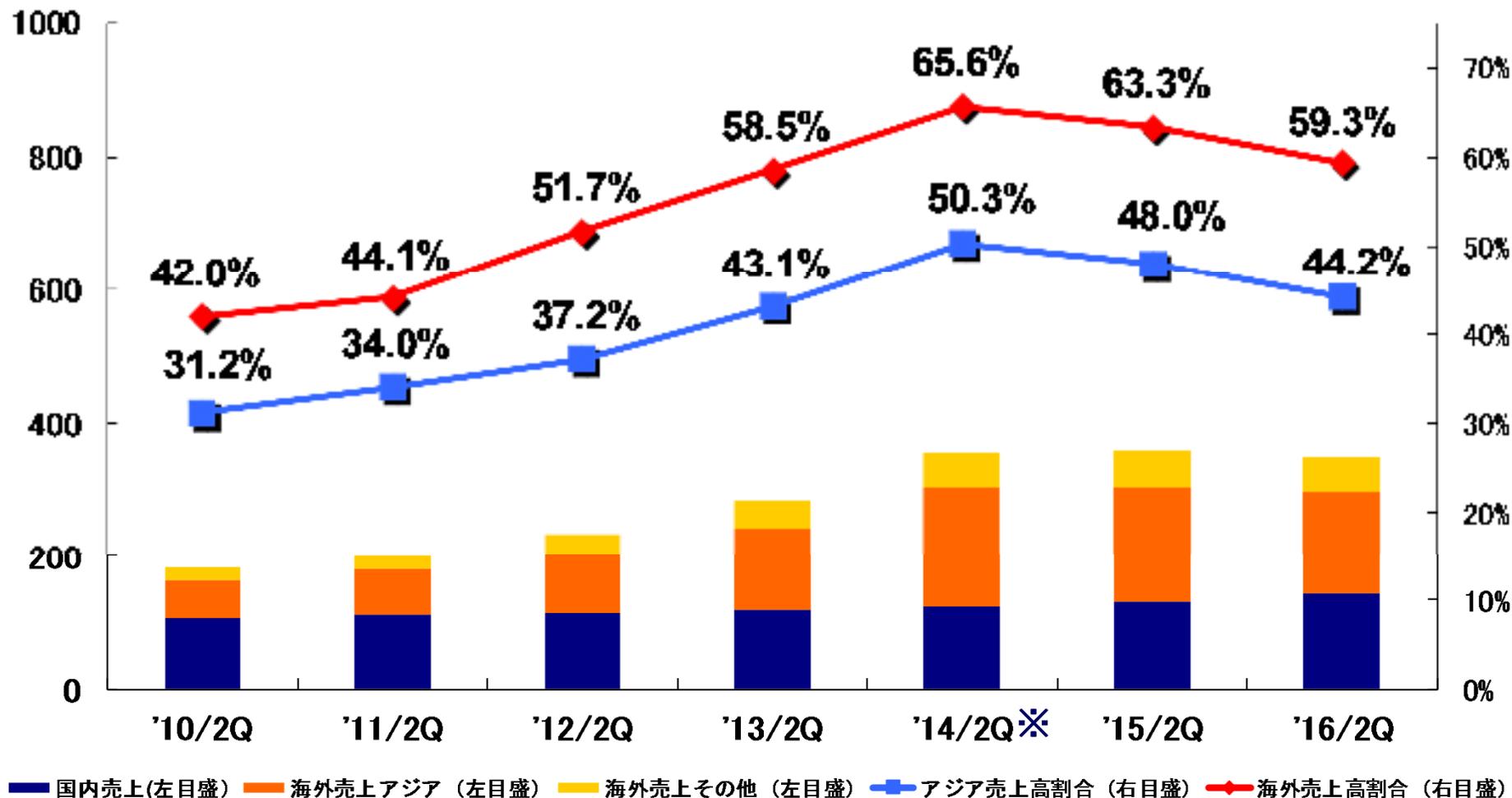
【参考】

海外売上高構成比は59.3%（為替影響除きでは62.0%）



■ 国内・海外売上高推移

(十億円)

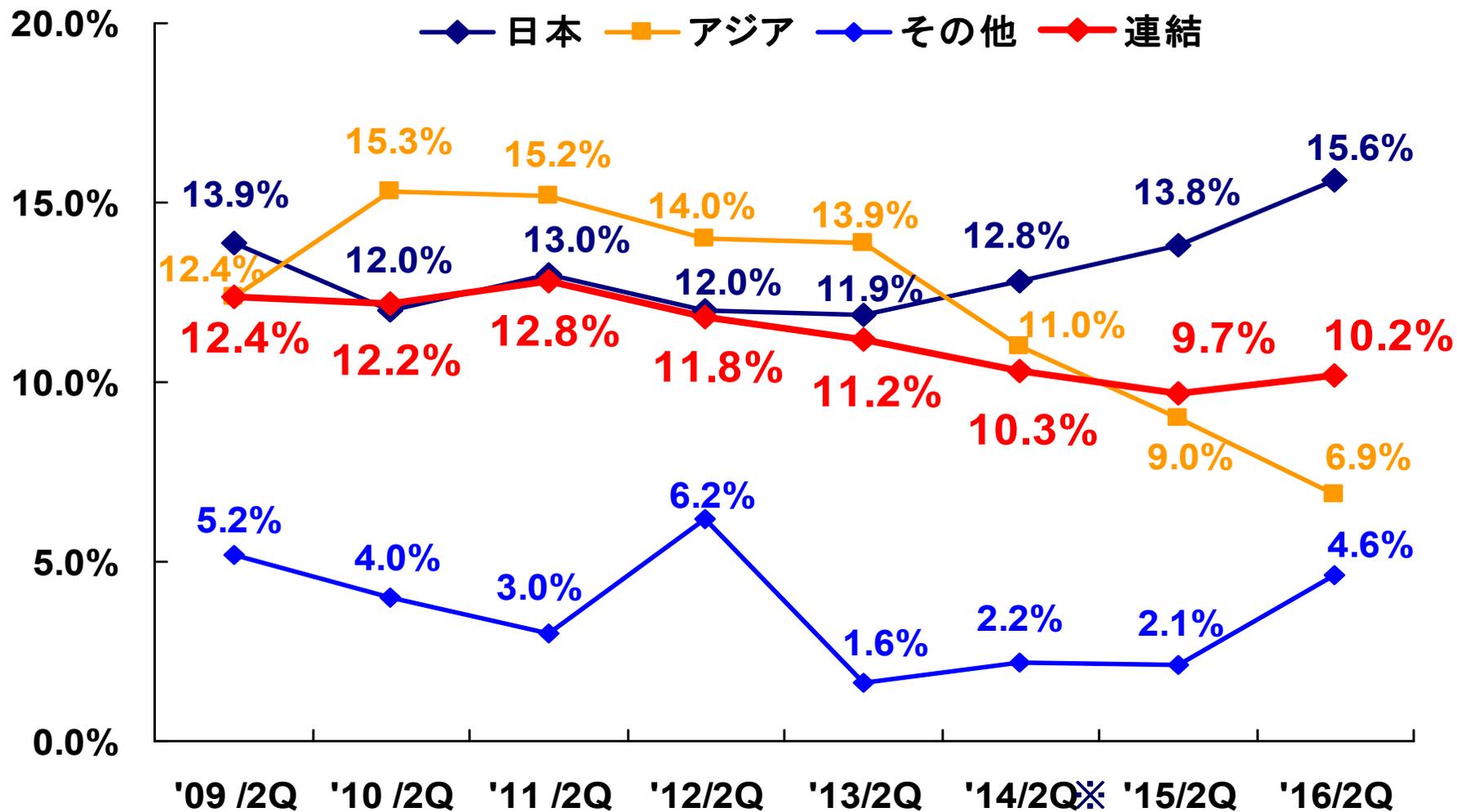


※決算期変更により変則的な決算となっております。

【参考】日本では高付加価値化による商品ミックス改善
アジアでは先行的に積極的なマーケティング投資を実施



■ 所在地別 営業利益率



※決算期変更により変則的な決算となっております。

ありがとうございました



ユニ・チャームは、
世界中の全ての人々のために
快適と感動と喜びを与えるような
世界初、世界No.1の商品と
サービスを提供し続けます。